
R8C/LA8A グループ

R01AN0078JJ0100

タイマRJ(パルス周期測定モード)

Rev.1.00

2011.04.20

1. 要約

この資料はR8C/LA8A グループのタイマRJのパルス周期測定モードの設定方法例、及び応用例について説明しています。

2. はじめに

この資料で説明する応用例は、次のマイコン、条件での利用に適用されます。

- マイコン : R8C/LA8A グループ
- XINクロック周波数 : 20MHz

本アプリケーションノートは、上記グループと同様のSFR(周辺機能制御レジスタ)を持つR8Cファミリマイコンでも使用できます。ただし、一部の機能を変更している場合がありますのでユーザーズマニュアルで確認してください。また、本アプリケーションノートで説明しているプログラムを使用される場合は十分な評価を行ってください。

3. 応用例の説明

3.1 プログラムの概要

TRJ0IO 端子に入力される外部信号のパルス周期を測定するプログラムです。

< 設定条件 >

- タイマRJ0を使用します。
- パルス周期測定モードを使用します。
- タイマRJ0のカウントソースにf1を選択します。
- TRJ0IO入力極性に片エッジを選択します。
- 測定パルスの立ち上がりから立ち上がりの幅を測定します。
- 有効エッジ判定フラグを使用します。
- タイマRJ0のアンダフローフラグを使用します。
- 入力端子はP6_2/TRJ0IO端子を使用します。
- タイマRJ0割り込みを使用します。
- TRJ0IO入力フィルタは使用しません。

図 3.1 にブロック図、図 3.2 にタイミング図を示します。表 3.1 に使用端子と機能を示します。

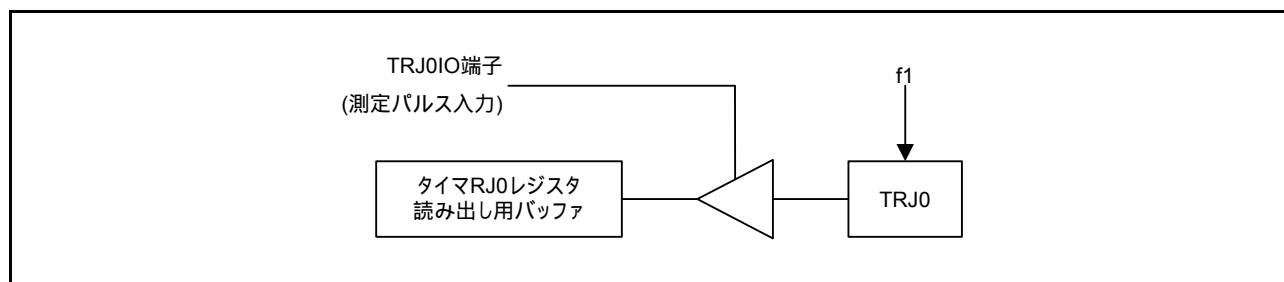


図 3.1 ブロック図

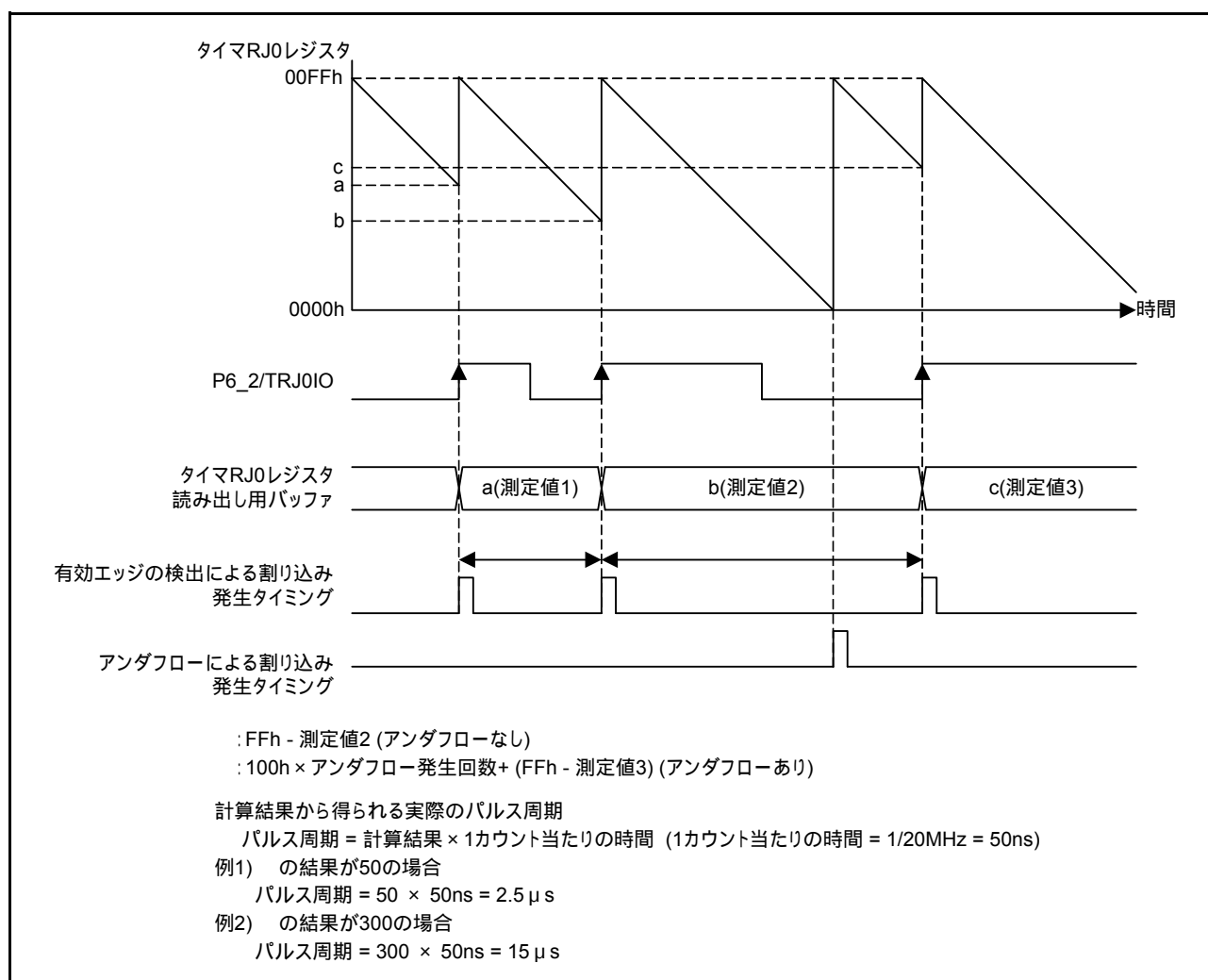


図 3.2 タイミング図

表 3.1 使用端子と機能

端子名	入出力	機能
P6_2/TRJ0IO	入力	測定パルス入力

3.2 使用メモリ

表 3.2 使用メモリ

使用メモリ	サイズ	備考
ROM	335バイト	r01an0078_src.cモジュール内
RAM	6バイト	r01an0078_src.cモジュール内
最大使用ユーザスタック	10バイト	
最大使用割り込みスタック	19バイト	

使用メモリサイズはCコンパイラのバージョンやコンパイルオプションによって異なります。上記は次の条件の場合です。

Cコンパイラ：M16C Series, R8C Family C Compiler V.5.45 Release 01

コンパイルオプション：-c -finfo -dir "\$(CONFIGDIR)" -R8C

4. ソフトウェア説明

「3. 応用例の説明」を実現するための初期設定手順と設定値を示します。各レジスタの詳細は「R8C/LA8A グループユーザーズマニュアル ハードウェア編」を参照願います。

レジスタ図において、×はこの応用では使用しないビット、空白は変更しないビット、- は予約ビットまたは、何も配置されていないビットです。

4.1 関数表

宣言	void main(void)		
概要	メイン関数		
引数	引数名	意味	
	なし	-	
使用変数 (グローバル)	変数名	使用内容	
	なし	-	
戻り値	型	値	意味
	なし	-	-
機能説明	システムクロックとタイマRJ0の初期設定後、パルス周期の算出処理を呼び出します。		

宣言	void mcu_init(void)		
概要	システムクロック設定処理		
引数	引数名	意味	
	なし	-	
使用変数 (グローバル)	変数名	使用内容	
	なし	-	
戻り値	型	値	意味
	なし	-	-
機能説明	システムクロック (XINクロック) の設定を行います。		

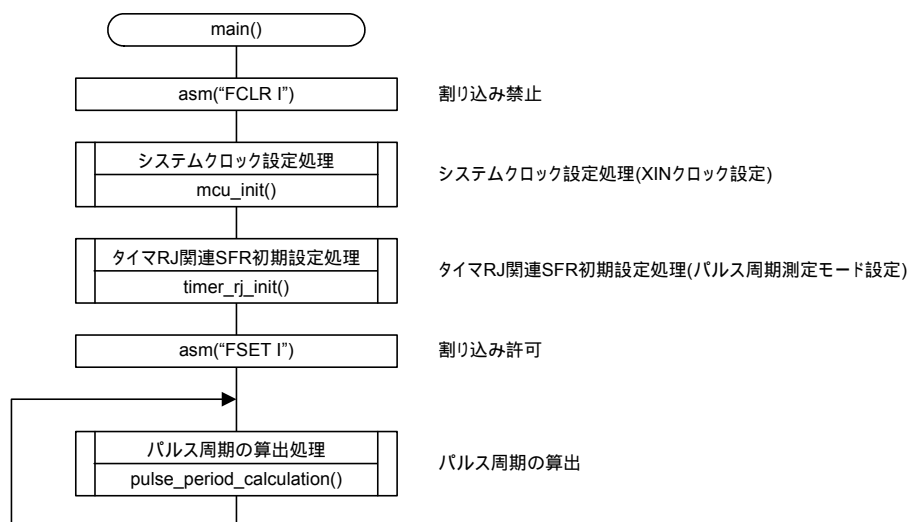
宣言	void timer_rj_init(void)		
概要	タイマRJ関連SFR初期設定処理		
引数	引数名	意味	
	なし	-	
使用変数 (グローバル)	変数名	使用内容	
	なし	-	
戻り値	型	値	意味
	なし	-	-
機能説明	タイマRJ0をパルス周期測定モードで使用するためのSFRの初期設定を行います。		

宣言	void pulse_period_calculation(void)		
概要	パルス周期の算出処理		
引数	引数名	意味	
	なし	-	
使用変数 (グローバル)	変数名	使用内容	
	unsigned char f_edge	有効エッジフラグ	
	unsigned char undf_cnt	アンダフローカウンタ	
	unsigned short present_value	タイマRJ0レジスタ 取得値	
戻り値	型	値	意味
	なし	-	-
機能説明	パルス周期測定モードで測定した値を元に、パルス周期を算出します。		

宣言	void _timer_rj_ch0(void)		
概要	タイマRJ0割り込み処理		
引数	引数名	意味	
	なし	-	
使用変数 (グローバル)	変数名	使用内容	
	unsigned char f_edge	有効エッジフラグ	
	unsigned char undf_cnt	アンダフローカウンタ	
	unsigned short present_value	タイマRJ0レジスタ 取得値	
戻り値	型	値	意味
	なし	-	-
機能説明	タイマRJ0割り込みの処理を行います。 有効エッジありの時は、TRJ0レジスタ値を読み出します。 アンダフローありの時は、アンダフロー回数をカウントします。 有効エッジあり、かつアンダフローありの時は、TRJ0レジスタの値に関係なく、 タイマRJ0レジスタ取得値を“0000h”に設定します。		

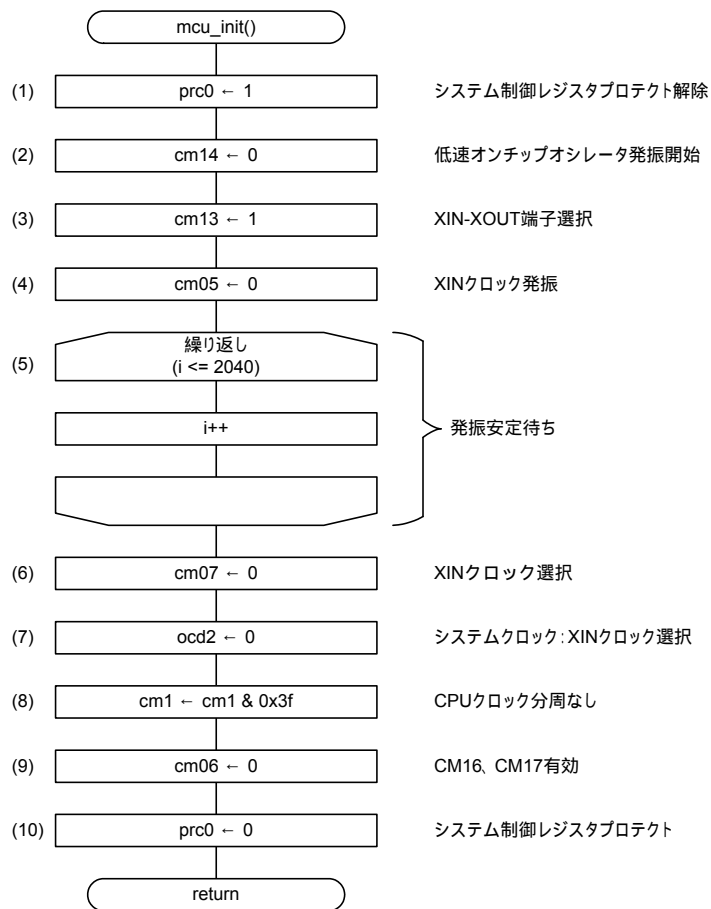
4.2 メイン関数

・フローチャート



4.3 システムクロック設定処理

・フローチャート



• レジスタ設定

- (1) CM0、CM1、CM3、OCD、FRA0、FRC0、FRA2、FRC1 レジスタへの書き込みを許可します。

プロテクトレジスタ(PCR)R

ビット	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
設定値	-	-	-	-	x	x	x	1

ビット	シンボル	ビット名	機能	R/W
b0	PRC0	プロテクトビット0	CM0、CM1、CM3、OCD、FRA0、FRC0、FRA2、FRC1レジスタへの書き込み許可 1：書き込み許可	R/W

- (2) 低速オンチップオシレータを発振させます。

システムクロック制御レジスタ1(CM1)

ビット	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
設定値			-	0		x	x	x

ビット	シンボル	ビット名	機能	R/W
b4	CM14	低速オンチップオシレータ発振停止ビット	0：低速オンチップオシレータ発振	R/W

- (3) XIN-XOUT 端子を選択します。

システムクロック制御レジスタ1(CM1)

ビット	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
設定値			-		1	x	x	x

ビット	シンボル	ビット名	機能	R/W
b3	CM13	ポート/XIN-XOUT切り替えビット	1：XIN-XOUT 端子	R/W

- (4) XINクロックを発振させます。

システムクロック制御レジスタ0 (CM0)

ビット	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
設定値			0	x	x	x	x	-

ビット	シンボル	ビット名	機能	R/W
b5	CM05	XINクロック(XIN-XOUT)停止ビット	0：発振	R/W

- (5) 発振安定待ちを行います。

- (6) XINクロックを選択します。

システムクロック制御レジスタ0 (CM0)

ビット	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
設定値	0			x	x	x	x	-

ビット	シンボル	ビット名	機能	R/W
b7	CM07	システムクロック選択ビット	0 : XINクロック、またはオンチップオシレータクロック	R/W

- (7) システムクロックをXINクロックに選択します。

発振停止検出レジスタ (OCD)

ビット	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
設定値	-	-	-	-	x	0	x	x

ビット	シンボル	ビット名	機能	R/W
b2	OCD2	オンチップオシレータクロック選択ビット	0 : XINクロック選択	R/W

- (8) CPUクロック分周比選択ビット1を設定します。

システムクロック制御レジスタ1(CM1)

ビット	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
設定値	0	0	-			x	x	x

ビット	シンボル	ビット名	機能	R/W
b6	CM16	CPUクロック分周比選択ビット1	b7 b6 00 : 分周なしモード	R/W
b7	CM17			R/W

- (9) CPUクロック分周比選択ビット0を設定します。

システムクロック制御レジスタ0(CM0)

ビット	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
設定値		0		x	x	x	x	-

ビット	シンボル	ビット名	機能	R/W
b6	CM06	CPUクロック分周比選択ビット0	0 : CM1レジスタのCM16、CM17ビット有効	R/W

- (10) CM0、CM1、CM3、OCD、FRA0、FRC0、FRA2、FRC1レジスタへの書き込みを禁止します。

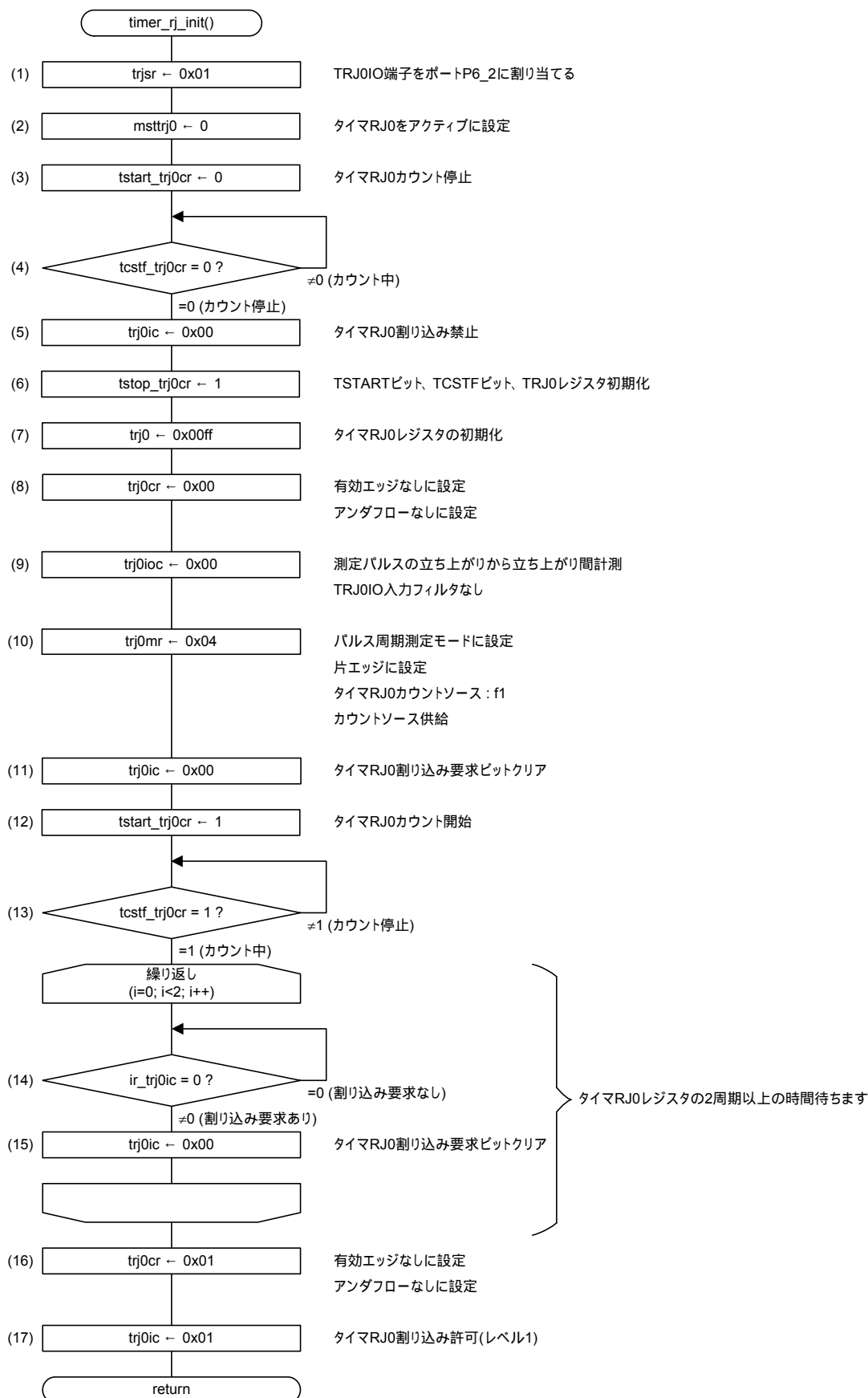
プロテクトレジスタ(PRCR)

ビット	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
設定値	-	-	-	-	x	x	x	0

ビット	シンボル	ビット名	機能	R/W
b0	PRC0	プロテクトビット0	CM0、CM1、CM3、OCD、FRA0、FRC0、FRA2、FRC1レジスタへの書き込み許可 0 : 書き込み禁止	R/W

4.4 タイマRJ関連SFR初期設定処理

・フローチャート



・レジスタ設定

- (1) タイマRJ端子選択レジスタを設定します。

タイマRJ端子選択レジスタ(TRJSR)

ビット	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
設定値	-	-	x	x	-	-	0	1

ビット	シンボル	ビット名	機能	R/W
b0	TRJ0IOSEL0	TRJ0IO端子選択ビット	b1 b0 0 1 : P6_2に割り当てる	R/W
b1	TRJ0IOSEL1			R/W

- (2) タイマRJ0をアクティブに設定します。

モジュールスタンバイ制御レジスタ1(MSTCR1)

ビット	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
設定値	-	-	x	x	0	x	x	x

ビット	シンボル	ビット名	機能	R/W
b3	MSTTRJ0	タイマRJ0スタンバイビット	0 : アクティブ	R/W

- (3) タイマRJ0のカウントを停止します。

タイマRJ0制御レジスタ(TRJ0CR)

ビット	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
設定値	-	-			-			0

ビット	シンボル	ビット名	機能	R/W
b0	TSTART	タイマRJ0カウント開始ビット	0 : カウント停止	R/W

- (4) タイマRJ0のカウントが停止するまで待ちます。

タイマRJ0制御レジスタ(TRJ0CR)

ビット	シンボル	ビット名	機能	R/W
b1	TCSTF	タイマRJ0カウントステータスフラグ	0 : カウント停止 1 : カウント中	R

- (5) タイマRJ0割り込みを禁止します。

割り込み制御レジスタ(TRJ0IC)

ビット	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
設定値	-	-	-	-	0	0	0	0

ビット	シンボル	ビット名	機能	R/W
b0	ILVL0	割り込み優先レベル選択ビット	b2 b1 b0 0 0 0 : レベル0 (割り込み禁止)	R/W
b1	ILVL1			R/W
b2	ILVL2			R/W
b3	IR	割り込み要求ビット	0 : 割り込み要求なし	R/W

- (6) TSTART ビット、TCSTF ビット、TRJ0 レジスタを初期化します。

タイマRJ0制御レジスタ(TRJ0CR)

ビット	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
設定値	-	-			-	1		

ビット	シンボル	ビット名	機能	R/W
b2	TSTOP	タイマRJ0カウント強制停止ビット	“1”を書くとカウントが強制停止します。 読んだ場合、その値は“0”。	R/W

- (7) タイマRJ0 レジスタを“00FFh”に初期化します。

タイマRJ0レジスタ(TRJ0)

ビット	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
設定値	1	1	1	1	1	1	1	1

ビット	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8
設定値	0	0	0	0	0	0	0	0

ビット	モード	機能	設定範囲	R/W
b15 ~ b0	パルス周期測定モード	外部からの入力パルスのパルス周期を測定 (内部カウントソースをカウント)	0001h ~ FFFFh	R/W

- (8) タイマRJ0制御レジスタを設定します。

タイマRJ0制御レジスタ(TRJ0CR)

ビット	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
設定値	-	-	0	0	-			

ビット	シンボル	ビット名	機能	R/W
b4	TEDGF	有効エッジ判定フラグ	0 : 有効エッジなし	R/W
b5	TUNDF	タイマRJ0アンダフローフラグ	0 : アンダフローなし	R/W

- (9) タイマRJ0 I/O制御レジスタを設定します。

タイマRJ0 I/O制御レジスタ(TRJ0IOC)

ビット	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
設定値	0	0	0	0	-	0	0	0

ビット	シンボル	ビット名	機能	R/W
b0	TEDGSEL	TRJ0IO極性切り替えビット	0 : 測定パルスの立ち上がりから立ち上がり間測定	R/W
b1	TOPCR	TRJ0IO出力制御ビット	パルス周期測定モードでは“0”にしてください	R/W
b2	TOENA	TRJ0IO出力許可ビット		R/W
b4	TIPF0	TRJ0IO入力フィルタ選択ビット	b5 b4 00 : フィルタなし	R/W
b5	TIPF1			R/W
b6	TIOGT0	TRJ0IOイベント入力制御ビット	パルス周期測定モードでは“0”にしてください	R/W
b7	TIOGT1			R/W

(10) タイマRJ0モードレジスタを設定します。

タイマRJ0モードレジスタ(TRJ0MR)

ビット	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
設定値	0	0	0	0	0	1	0	0

ビット	シンボル	ビット名	機能	R/W
b0	TMOD0	タイマRJ0動作モード選択ビット	b2 b1 b0 1 0 0 : パルス周期測定モード	R/W
b1	TMOD1			R/W
b2	TMOD2			R/W
b3	TEDGPL	TRJ0IO入力極性選択ビット	0 : 片エッジ	R/W
b4	TCK0	タイマRJ0カウントソース選択ビット	b6 b5 b4 0 0 0 : f1	R/W
b5	TCK1			R/W
b6	TCK2			R/W
b7	TCKCUT	タイマRJ0カウントソース遮断ビット	0 : カウントソース供給	R/W

(11) タイマRJ0割り込み要求なしに設定します。

割り込み制御レジスタ(TRJ0IC)

ビット	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
設定値	-	-	-	-	0			

ビット	シンボル	ビット名	機能	R/W
b3	IR	割り込み要求ビット	0 : 割り込み要求なし	R/W

(12) タイマRJ0カウントを開始します。

タイマRJ0制御レジスタ(TRJ0CR)

ビット	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
設定値	-	-			-			1

ビット	シンボル	ビット名	機能	R/W
b0	TSTART	タイマRJ0カウント開始ビット	1 : カウント開始	R/W

(13) タイマRJ0のカウントが開始するまで待ちます。

タイマRJ0制御レジスタ(TRJ0CR)

ビット	シンボル	ビット名	機能	R/W
b1	TCSTF	タイマRJ0カウントステータスフラグ	0 : カウント停止 1 : カウント中	R

(14) タイマRJ0割り込み要求ビットを判定します。

割り込み制御レジスタ(TRJ0IC)

ビット	シンボル	ビット名	機能	R/W
b3	IR	割り込み要求ビット	0 : 割り込み要求なし 1 : 割り込み要求あり	R/W

(15) タイマRJ0割り込み要求なしに設定します。

割り込み制御レジスタ (TRJ0IC)

ビット	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
設定値	-	-	-	-	0			

ビット	シンボル	ビット名	機能	R/W
b3	IR	割り込み要求ビット	0 : 割り込み要求なし	R/W

(16) 有効エッジなし、アンダフローなしに設定します。

タイマRJ0制御レジスタ (TRJ0CR)

ビット	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
設定値	-	-	0	0	-			

ビット	シンボル	ビット名	機能	R/W
b4	TEDGF	有効エッジ判定フラグ	0 : 有効エッジなし	R/W
b5	TUNDF	タイマRJ0 アンダフローフラグ	0 : アンダフローなし	R/W

(17) タイマRJ0割り込みを許可(レベル1)します。

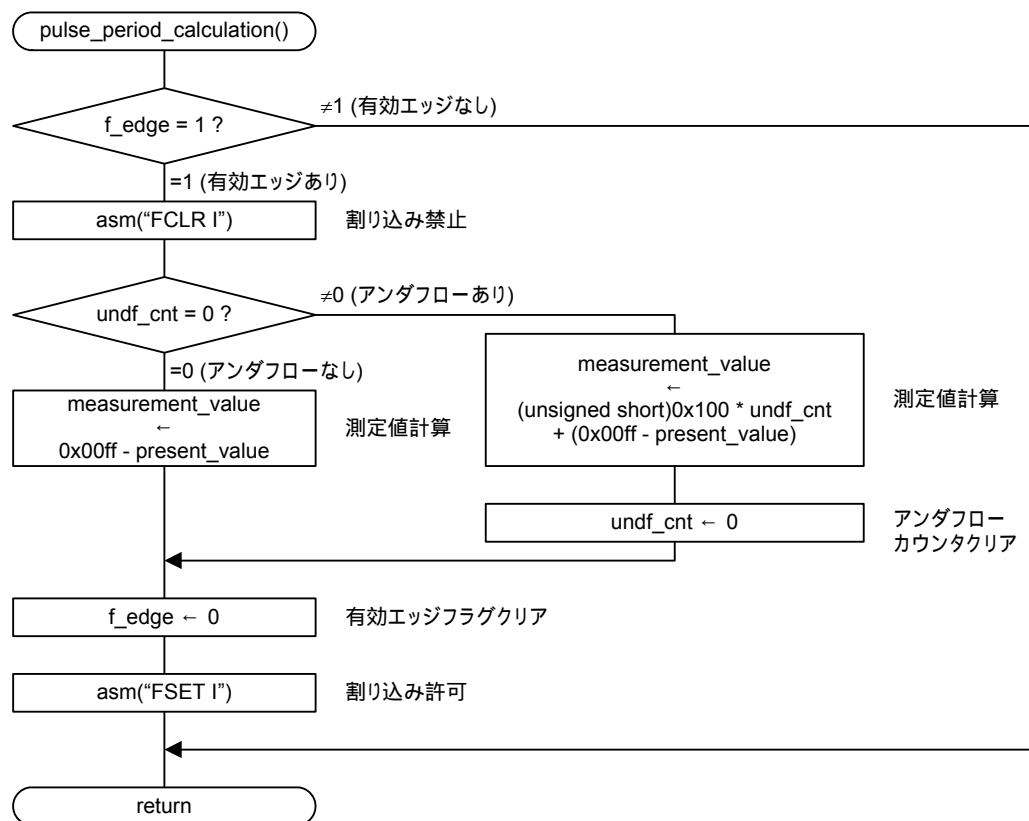
割り込み制御レジスタ (TRJ0IC)

ビット	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
設定値	-	-	-	-	0	0	0	1

ビット	シンボル	ビット名	機能	R/W
b0	ILVL0	割り込み優先レベル選択ビット	b2 b1 b0 0 0 1 : レベル1	R/W
b1	ILVL1			R/W
b2	ILVL2			R/W
b3	IR	割り込み要求ビット	0 : 割り込み要求なし	R/W

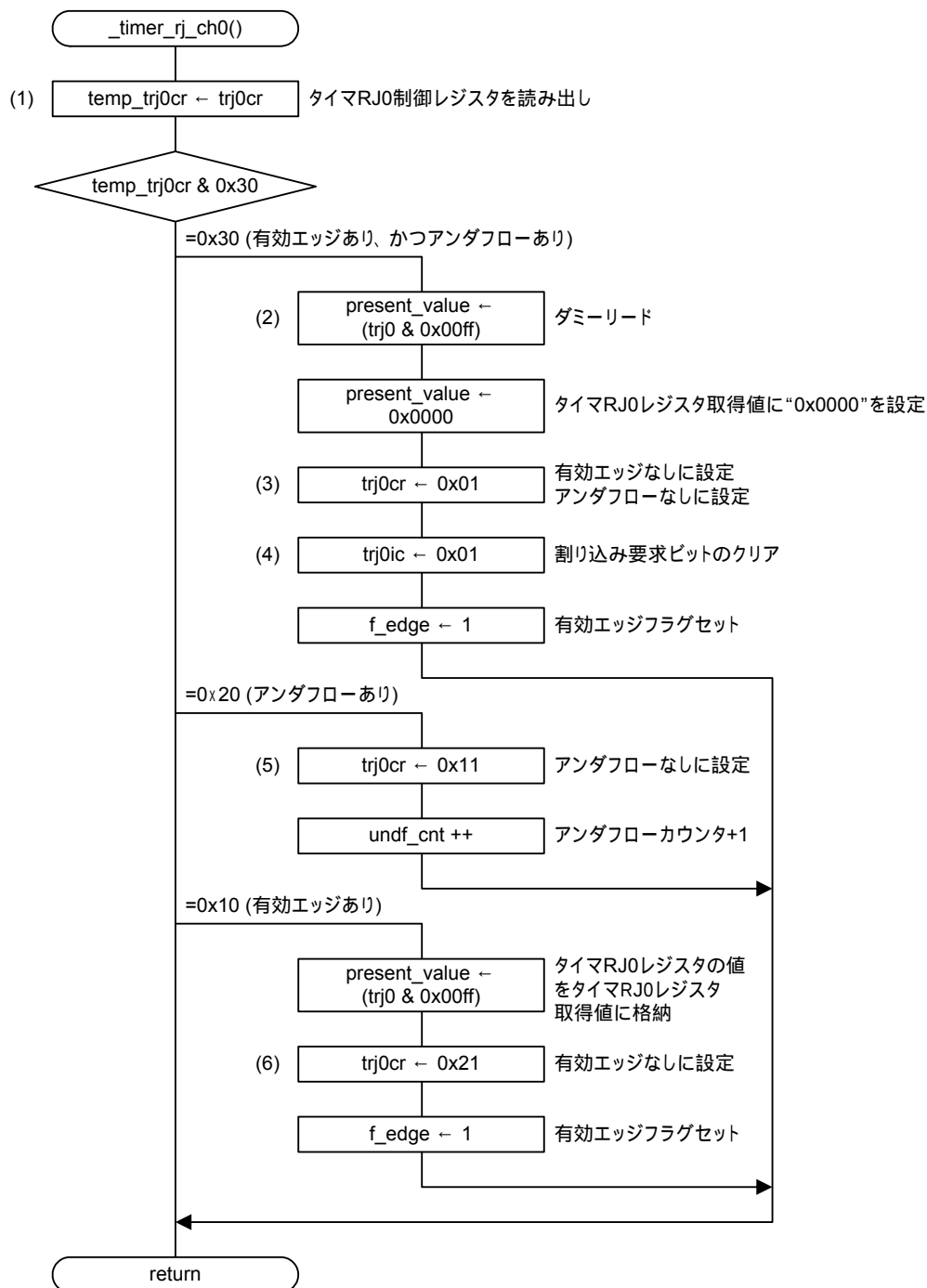
4.5 パルス周期の算出処理

・フローチャート



4.6 タイマRJ0割り込み処理

・フローチャート



• レジスタ設定

- (1) 有効エッジ、アンダフローの状態を調べるために、タイマRJ0制御レジスタを読み出します。

タイマRJ0制御レジスタ(TRJ0CR)

ビット	シンボル	ビット名	機能	R/W
b4	TEDGF	有効エッジ判定フラグ	0: 有効エッジなし 1: 有効エッジあり (測定期間終了)	R/W
b5	TUNDF	タイマRJ0アンダフローフラグ	0: アンダフローなし 1: アンダフローあり	R/W

- (2) タイマRJ0レジスタを読み出します。

タイマRJ0レジスタ(TRJ0)

ビット	モード	機能	設定範囲	R/W
b15 ~ b0	パルス周期測定モード	外部からの入力パルスのパルス周期を測定 (内部カウントソースをカウント)	0001h ~ FFFFh	R/W

- (3) 有効エッジなし、アンダフローなしに設定します。

タイマRJ0制御レジスタ(TRJ0CR)

ビット	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
設定値	-	-	0	0	-			

ビット	シンボル	ビット名	機能	R/W
b4	TEDGF	有効エッジ判定フラグ	0: 有効エッジなし	R/W
b5	TUNDF	タイマRJ0アンダフローフラグ	0: アンダフローなし	R/W

- (4) タイマRJ0割り込み要求なしに設定します。

有効エッジ検出による割り込み処理開始直後にアンダフローが発生、又はアンダフローによる割り込み処理開始直後に有効エッジ検出した場合、割り込み要求ビットが"1"になります。

割り込み要求ビットが"1"の状態、実行中の割り込み処理を終了すると、割り込み処理から復帰直後に再び割り込み処理を実行してしまいます。この割り込み処理を実行しないようにするために、割り込み要求ビットに"0"を設定します。

割り込み制御レジスタ(TRJ0IC)

ビット	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
設定値	-	-	-	-	0			

ビット	シンボル	ビット名	機能	R/W
b3	IR	割り込み要求ビット	0: 割り込み要求なし	R/W

- (5) アンダフローなしに設定します。TEDGF ビットに“1”を書くことで、TEDGF ビットの値は保持されます。

タイマRJ0制御レジスタ (TRJ0CR)

ビット	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
設定値	-	-	0		-			

ビット	シンボル	ビット名	機能	R/W
b5	TUNDF	タイマRJ0アンダフローフラグ	0 : アンダフローなし	R/W

- (6) 有効エッジなしに設定します。TUNDF ビットに“1”を書くことで、TUNDF ビットの値は保持されます。

タイマRJ0制御レジスタ (TRJ0CR)

ビット	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
設定値	-	-		0	-			

ビット	シンボル	ビット名	機能	R/W
b4	TEDGF	有効エッジ判定フラグ	0 : 有効エッジなし	R/W

5. 参考プログラム例

参考プログラムは、ルネサス エレクトロニクスホームページから入手してください。
R8Cファミリのトップページの画面左メニュー「アプリケーションノート」をクリックしてください。

6. 参考ドキュメント

R8C/LA8A グループ ユーザーズマニュアル ハードウェア編 Rev.1.01
(最新版をルネサス エレクトロニクスホームページから入手してください。)

テクニカルアップデート / テクニカルニュース
(最新の情報をルネサス エレクトロニクスホームページから入手してください。)

ホームページとサポート窓口

ルネサス エレクトロニクスホームページ
<http://japan.renesas.com/>

お問合せ先
<http://japan.renesas.com/inquiry>

改訂記録	R8C/LA8Aグループ タイマRJ(パルス周期測定モード)
------	-----------------------------------

Rev.	発行日	改訂内容	
		ページ	ポイント
1.00	2011.04.20	－	初版発行

すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。

製品ご使用上の注意事項

ここでは、マイコン製品全体に適用する「使用上の注意事項」について説明します。個別の使用上の注意事項については、本文を参照してください。なお、本マニュアルの本文と異なる記載がある場合は、本文の記載が優先するものとします。

1. 未使用端子の処理

【注意】未使用端子は、本文の「未使用端子の処理」に従って処理してください。

CMOS 製品の入力端子のインピーダンスは、一般に、ハイインピーダンスとなっています。未使用端子を開放状態で動作させると、誘導現象により、LSI 周辺のノイズが印加され、LSI 内部で貫通電流が流れたり、入力信号と認識されて誤動作を起こす恐れがあります。未使用端子は、本文「未使用端子の処理」で説明する指示に従い処理してください。

2. 電源投入時の処置

【注意】電源投入時は、製品の状態は不定です。

電源投入時には、LSI の内部回路の状態は不確定であり、レジスタの設定や各端子の状態は不定です。

外部リセット端子でリセットする製品の場合、電源投入からリセットが有効になるまでの期間、端子の状態は保証できません。

同様に、内蔵パワーオンリセット機能を使用してリセットする製品の場合、電源投入からリセットのかかる一定電圧に達するまでの期間、端子の状態は保証できません。

3. リザーブアドレス（予約領域）のアクセス禁止

【注意】リザーブアドレス（予約領域）のアクセスを禁止します。

アドレス領域には、将来の機能拡張用に割り付けられているリザーブアドレス（予約領域）があります。これらのアドレスをアクセスしたときの動作については、保証できませんので、アクセスしないようにしてください。

4. クロックについて

【注意】リセット時は、クロックが安定した後、リセットを解除してください。

プログラム実行中のクロック切り替え時は、切り替え先クロックが安定した後に切り替えてください。

リセット時、外部発振子（または外部発振回路）を用いたクロックで動作を開始するシステムでは、クロックが十分安定した後、リセットを解除してください。また、プログラムの途中で外部発振子（または外部発振回路）を用いたクロックに切り替える場合は、切り替え先のクロックが十分安定してから切り替えてください。

5. 製品間の相違について

【注意】型名の異なる製品に変更する場合は、製品型名ごとにシステム評価試験を実施してください。

同じグループのマイコンでも型名が違うと、内部 ROM、レイアウトパターンの相違などにより、電氣的特性の範囲で、特性値、動作マージン、ノイズ耐量、ノイズ輻射量などが異なる場合があります。型名が違う製品に変更する場合は、個々の製品ごとにシステム評価試験を実施してください。

ご注意書き

1. 本資料に記載されている内容は本資料発行時点のものであり、予告なく変更することがあります。当社製品のご購入およびご使用にあたりましては、事前に当社営業窓口で最新の情報をご確認いただきますとともに、当社ホームページなどを通じて公開される情報に常にご注意ください。
2. 本資料に記載された当社製品および技術情報の使用に関連し発生した第三者の特許権、著作権その他の知的財産権の侵害等に関し、当社は、一切その責任を負いません。当社は、本資料に基づき当社または第三者の特許権、著作権その他の知的財産権を何ら許諾するものではありません。
3. 当社製品を改造、改変、複製等しないでください。
4. 本資料に記載された回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報は、半導体製品の動作例、応用例を説明するものです。お客様の機器の設計において、回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報を使用する場合には、お客様の責任において行ってください。これらの使用に起因しお客様または第三者に生じた損害に関し、当社は、一切その責任を負いません。
5. 輸出に際しては、「外国為替及び外国貿易法」その他輸出関連法令を遵守し、かかる法令の定めるところにより必要な手続を行ってください。本資料に記載されている当社製品および技術を大量破壊兵器の開発等の目的、軍事利用の目的その他軍事用途の目的で使用しないでください。また、当社製品および技術を国内外の法令および規則により製造・使用・販売を禁止されている機器に使用することができません。
6. 本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したのですが、誤りがないことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。
7. 当社は、当社製品の品質水準を「標準水準」、「高品質水準」および「特定水準」に分類しております。また、各品質水準は、以下に示す用途に製品が使われることを意図しておりますので、当社製品の品質水準をご確認ください。お客様は、当社の文書による事前の承諾を得ることなく、「特定水準」に分類された用途に当社製品を使用することができません。また、お客様は、当社の文書による事前の承諾を得ることなく、意図されていない用途に当社製品を使用することができません。当社の文書による事前の承諾を得ることなく、「特定水準」に分類された用途または意図されていない用途に当社製品を使用したことによりお客様または第三者に生じた損害等に関し、当社は、一切その責任を負いません。なお、当社製品のデータ・シート、データ・ブック等の資料で特に品質水準の表示がない場合は、標準水準製品であることを表します。
標準水準： コンピュータ、OA機器、通信機器、計測機器、AV機器、家電、工作機械、パーソナル機器、産業用ロボット
高品質水準： 輸送機器（自動車、電車、船舶等）、交通用信号機器、防災・防犯装置、各種安全装置、生命維持を目的として設計されていない医療機器（厚生労働省定義の管理医療機器に相当）
特定水準： 航空機器、航空宇宙機器、海底中継機器、原子力制御システム、生命維持のための医療機器（生命維持装置、人体に埋め込み使用するもの、治療行為（患部切り出し等）を行うもの、その他直接人命に影響を与えるもの）（厚生労働省定義の高度管理医療機器に相当）またはシステム等
8. 本資料に記載された当社製品のご使用につき、特に、最大定格、動作電源電圧範囲、放熱特性、実装条件その他諸条件につきましては、当社保証範囲内でご使用ください。当社保証範囲を超えて当社製品をご使用された場合の故障および事故につきましては、当社は、一切その責任を負いません。
9. 当社は、当社製品の品質および信頼性の向上に努めておりますが、半導体製品はある確率で故障が発生したり、使用条件によっては誤動作したりする場合があります。また、当社製品は耐放射線設計については行っておりません。当社製品の故障または誤動作が生じた場合も、人身事故、火災事故、社会的損害などを生じさせないようお客様の責任において冗長設計、延焼対策設計、誤動作防止設計等の安全設計およびエージング処理等、機器またはシステムとしての出荷保証をお願いいたします。特に、マイコンソフトウェアは、単独での検証は困難なため、お客様が製造された最終の機器・システムとしての安全検証をお願いいたします。
10. 当社製品の環境適合性等、詳細につきましては製品個別に必ず当社営業窓口までお問合せください。ご使用に際しては、特定の物質の含有・使用を規制するRoHS指令等、適用される環境関連法令を十分調査のうえ、かかる法令に適合するようご使用ください。お客様がかかる法令を遵守しないことにより生じた損害に関し、当社は、一切その責任を負いません。
11. 本資料の全部または一部を当社の文書による事前の承諾を得ることなく転載または複製することを固くお断りいたします。
12. 本資料に関する詳細についてのお問い合わせその他お気付きの点等がございましたら当社営業窓口までご照会ください。

注1. 本資料において使用されている「当社」とは、ルネサス エレクトロニクス株式会社およびルネサス エレクトロニクス株式会社がその総株主の議決権の過半数を直接または間接に保有する会社をいいます。

注2. 本資料において使用されている「当社製品」とは、注1において定義された当社の開発、製造製品をいいます。



ルネサス エレクトロニクス株式会社

■営業お問合せ窓口

<http://www.renesas.com>

※営業お問合せ窓口の住所・電話番号は変更することがあります。最新情報につきましては、弊社ホームページをご覧ください。

ルネサス エレクトロニクス販売株式会社 〒100-0004 千代田区大手町2-6-2（日本ビル）

(03)5201-5307

■技術的なお問合せおよび資料のご請求は下記へどうぞ。
総合お問合せ窓口：<http://japan.renesas.com/inquiry>